

熊本県産「い草」需要拡大に向けた取組支援

熊本県産い草を国内外へ広くアピールするため、若手農家が作成予定の長さ14メートルの畳を展示する場所探しや、候補施設への働きかけを実施。

○ 施策分類

地域作物、知的財産

○ きっかけ・背景、課題の把握

当局統計部が「い」の現地調査を実施した際に、若手い草生産農家からギネス認定に向け作成予定の「い草畳」を阿蘇くまもと空港に展示したいので九州農政局からも後押し（関係機関への要請）をしてほしい旨の協力依頼があった。（統計部→拠点）

○ 取組の内容

阿蘇くまもと空港に対する要請状況を把握するため、関係機関（八代市、熊本県県南広域本部、熊本県いぐさ・畳活性化連絡協議会）に出向き情報収集を行った。その中で空港側からは、展示スペース等の問題があり、14メートルの畳の展示は現状では難しいと回答が示されていることが判明した。

その後、依頼者である若手い草生産農家を訪問し、展示要請に至った経緯等の情報交換を実施し、関係機関から得た情報等についても説明を行った。

○ 効果・成果、今後の方向性

状況を踏まえ、県拠点としては、空港以外での展示可能な施設の紹介や、県拠点ホームページのGI製品コーナーで、「熊本県産い草」についての紹介を行った。

今後も引き続き、関係機関等と協力してPRに努めることとしている。



い草の収穫状況を取材



畳の作成作業

組織図

